

バラバラにされればわたしたちは倒れる。団結すればわたしたちは立つ。

<p>〈これからの予定〉</p> <p>○7月9日(土) 女性学習会 「子ども・チームを育てる人の コミュニケーション」</p> <p>○10月1日(土) 女性部レク 「シャインマスカット狩り」</p>	<p>愛知県職連合女性部しんぶん</p> <h1>あゆむ</h1> 	<p>第343号 (2022年6月)</p> <p>発行 県職連合女性部</p> <p>〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 直通 052(951)4036 FAX 052(972)0649 FAXフリーアクセス 0120(930)340</p> <p>http://www.aichikenshoku.gr.jp E-mail josei21@aichikenshoku.gr.jp</p> <p>発行責任者 山崎真弓</p>
---	---	---

2022年度 役員学習会

女性部の取り組みについて学ぶ

5月18日(水)、刈谷市産業振興センターで女性部役員学習会を行い、本部・支部役員等合わせて12名が参加しました。

学習会では、「女性部について」、「2022年度女性部の活動計画」、「組合活動の進め方」及び「現在の情勢と県職連合・各組合の活動」について学びました。

女性部長の一言



山崎女性部長

昨年度は新型コロナウイルスの影響で8月開催となつた役員学習会ですが、今年度は予定どおり5月に開催することができ、ほっとしています。

役員学習会は、役員として何をすればいいのかが女性部の活動とはどういうものなのかを確認し、不安に感じていることを解消していただく場です。本日の学習会で、安心して今後の支部活動を行っていただけるようになれば幸いです。

女性部について

山崎女性部長から、女性部の組織について、話がありました。

役員として活動するにあたり、まず組合の組織について理解を深めるこ

とが、不安の解消につながるこの考えで、分会、支部および本部女性部の役回りなどについて説明しました。

「女性部が婦人部という名称で設立した1984年当時から、働く女性を取り巻く環境は大きく前進しているが、真

説明する井上事務局長

平等の実現には至っていない。今後もみなさんと協力して、取り組みを続けてまいりたい。」と述べました。

活動計画と組合活動の進め方

井上事務局長からは、2022年度女性部の活動計画について、説明しました。

「女性部は、女性の要求の取り組みと、学習・

行事予定		要求集約等
1月	11日(火)第2回常任委員会(都市センター)	2022女性の要求資料作成
2月		
3月		
4月		
5月	18日(水)役員学習会15:00~(刈谷産業振興センター)	女性分会集会・個人アンケート
6月		
7月	9日(土)第3回常任委員会(都市センター)女性学習会	意見のまとめ
8月		女性の要求確認
9月		
10月	1日(土)女性部レク 中甸 第4回常任委員会 人事課との意見交換会	総合要求に反映 人事課の意見交換会に反映 議案書作成
11月		
12月	〇日(〇)第5回常任委員会(都市センター)定期大会	大会

交流活動や、機関紙「あゆみ」による情報発信などを行っている。

2022女性の要求については、分会女性集会や女性の要求アンケートの意見を集約し、人事課との意見交換会へ反映させている。また、7月9日に女性学習会を、10月に女性部レクを計画している。「と女性部の取り組みについて説明、協力を呼びかけました。」

堀池女性部担当書記からは、女性部の活動の進め方について手引きに基づき、支部女性部大会や分会女性代表者会議等の



真剣に聞く参加者

現在の情勢と 泉職連合・ 各組合の活動



久田執行委員長

勢等について説明がありました。

「組合の組織率が低下している中、新規採用職員の加入も厳しい状況にある。周囲の新採職員で組合未加入の方には、ぜひ加入について呼びかけをしていただきたい。どのように話したらいいかわからないのであれば、本部に相談してもらえば、職場まで説明に行く。ま

会議の開催、支部女性部レクの実施にあたっての注意点や支部女性部の予算等について説明しました。「わからないことがあればいつでも相談してほしい。」と呼びかけました。

た、これから総合要求、職場要求の取り組みが始まるのでよろしくお願ひしたい。」と協力を呼びかけました。

その後、定年引上げ関連制度について、説明がありました。定年年齢の段階的な引上げ、役職定年制、定年前再任用短時間勤務制などについて、国家公務員の例をもとに説明があり、今後当局との説明会を経て、交渉に進んでいくと述べました。

各支部の参加者から

○新型コロナウイルスの影響で、ここ数年、レク等出ていない。これから役員で相談して、やれることをやっていきたい。

○久しぶりの支部役員であるため、他の役員と考えながら活動していきたい。



支部の活動について

○新型コロナウイルスのことがあり、レクの開催の可否について、どう判断したらよいかわからない。他の支部の状況も聞きたい。

でした。が、支部役員のみならず、皆さんは、試行錯誤しながら活動に取り組んでいきます。

支部女性部の活動へ、みなさんのご協力と積極的な参加をお願いします！



2022 女性学習会

子ども・チームを育てる人のコーチング

～相手も自分も成長するコミュニケーション～

「目標を達成するために、その人の持っている良いところを最大限に引き出し、行動を変容させる手法」であるコーチングスキルを身につけて、職場や家庭でのコミュニケーションを円滑にしましょう！

日時：2022年7月9日（土）

14:00～16:30

会場：名古屋都市センター

特別会議室

定員：60名

詳しくはチラシをご覧ください♪



コーチング・マーム代表
三浦真弓先生



バンジージャンプで爽快に

私は普段

は家に引きこもり、寝ているか携帯をいじっている位しかしないインドアなのですが、なぜか数年に一度突然（物理的に）地に足の着かない事をしてみたくなります。そうやって経験してきたものの中で心と体が一番すっきりしたアクティビティをご紹介します。バンジージャンプです。

突然ですがみなさん、日本各地にあるバンジージャンプの中で一番高低

差のあるバンジージャンプってどこのものかご存じですか？実は岐阜県の八百津町にあります。高低差は215メートル。

このバンジージャンプはよくテレビで見ると



ものようなものだけをつけて飛ぶものとは少し異なり、ムササビスーツを着用して飛びます。自分で橋から落ちる瞬間は勇気がいりますが、えい！と飛び立ってしまえば一瞬です。

落ちていく最中に手足を広げ、ムササビスーツによる空気抵抗を大きくする事により、落ちていくのに一瞬ふわん、と体が浮くような感覚も味わえますし、飛んでいる最



中は嫌なことが全部吹っ飛んでいきます。

自分が飛んでいる姿と頭に着けたカメラの動画はデータでもらえますので、周りの人に見せて話のネタとするのにも最適です。

少しお値段が張るのが難点ですが、普段では絶対に味わえないものが味わえますので、興味のあ

る方は一度調べてみてはいかがでしょうか。

（建築指導課 近藤 佳奈）



おすすめの映画とドラマ

だんだん暑くなり、外を歩く際には日傘が手放せない季節になってき

ました。お出かけも楽しいですが、クーラーの効いた涼しい部屋で映画やドラマを見るのも最高です。今回は、少し古い作品にはなりますがお気に入りの映画とドラマを紹介したいと思います。

まずプログ小説が原作の映画、「ぼくたちと駐在さんの700日戦争」です。70年代の田舎町を舞台とし、イタズラ常習犯のやんちゃな高校生7人とそのイタズラに対抗する駐在さんとの大バトルを描いています。笑いあり、感動ありの何度観ても飽かない青春コメディです。

次に漫画が原作のドラマと映画「信長協奏曲」です。現代の高校生サブローが戦国時代にタイムスリップし、自分に瓜二つの織



田信長として天下統一を目指す。独自の解釈も入りつつ、実際の歴史とストーリーが上手く絡み合っています。特に、戦国史において謎の多い事件である本能寺の変に纏わるエピソードは、現実味が無いと分かってい

てもどこか本当にそうだったのではないかと思わされる解釈で、気に入っています。こちらも笑いあり、感動ありのとても見やすく楽しめる作品です。

両作品、見て元気が出る作品ですので、ぜひご覧ください！！

（生活衛生課

三枝 愛理）

女性とがん①

子宮頸がんは予防できるの？ ～HPVワクチンのお話し～

令和3年11月、厚生労働省はヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの「積極的な勧奨を差し控えている状態を終了する」と発表しました。専門家によりワクチンの有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたためです。

HPVは皮膚や粘膜に感染するウイルスで、16型と18型は子宮頸がん全体の50～70%の原因でワクチンによって防ぐことができます。HPVに感染しないこと（1次予防）、検診で早期発見・治療すること（2次予防）ができる子宮頸がんは予防しやすいがんともいえます。子宮頸がんは、若い世代の増加が問題になっています。「積極的な勧奨」を中止していた間に接種対象となっていた令和4年度に17～25歳の女性はHPVワクチン接種が公費で負担されます。



※この記事はワクチン接種を積極的に推し進めるものではありません。

厚生労働省HPVワクチンに関するQ&Aなど参考にしてください。

女性部の役員って何をやってるの？



昨年度に実施した役員対象のアンケート調査で、「女性部の役員」をやるときに、何をやるのかわらなくて不安だ、というご意見が多数ありました。私の経験をお話することで、少しでも女性部についての理解が進み、身近に感じていただけたら嬉しいです。

「次の支部の女性部長をお願い！」と言われたのが始まりでした。所属支部では、支部女性部長が本部常任委員を兼務しています（選出方法は支部によって異なります）。

元々所属する支部の役員を務めていましたが、女性部のことは噂程度にしか知らず、「会議

とか行事に参加しないと怒られるらしい」と不安を感じたのを覚えています。

本部常任委員会は、部長、副部長、事務局長のほか、支部選出の8名の常任委員で構成されています。「本部」といっても、組合本部に常駐しているわけではなく、普段は各自の職場で仕事をしています。

「女性の要求」の取り組み、レクや学習会の開催、機関紙「あゆみ」の記事執筆等を分担して行いますが、組合本部に女性部担当の役員と書記がいて、しっかり支えてくれるので、心配はいりません。

私も会議やレクなどの行事を欠席したことも多々ありますが、もちろん怒られません！

役員は仕事や家庭との折り合いをつけながら、できる範囲で活動している、というのが実態です。

ただ、平日昼間の活動が年休対応になる、というのが玉にキズ、といったところでしょうか。

（次回へ続く）